

「特定健診の成績を用いた高血圧発症リスク因子の研究」に関する公示

特定健診の成績を活用して新しい知見を見いだし、県民の健康増進に寄与することが公益法人としての宮崎県健康づくり協会の使命の一つとされています。その一環として、「特定健診の成績を用いた高血圧発症リスク因子」を解明するための研究に取り組むことになりました。そこで、「個人情報保護法」や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に勧告されている指針に従って、研究計画を開示することにいたします。

高血圧は非感染性疾患の中で生命予後の最大のリスク因子とされています。高血圧の発症を予防することができたら、心臓・血管病や認知症を予防し、健康寿命を延ばす上で極めて大きな手掛かりを得ることになります。そこで、特定健診の項目の中で、高血圧の発症に関係の深い健診項目（リスク）を明らかにできれば、健診の現場でそのリスクと関連の深い生活習慣を把握し、対策を講ずることが可能となります。このように、高血圧の発症リスクを解明することは、高血圧の発症予防のために重要な意義を持っています。しかし、我が国ではこのような研究がまだ不十分です。

この研究は2018年8月7日から2019年8月6日までの1年間に行う予定です。使用する健診データは、性、年齢、身長、体重、腹囲、血圧値、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST、ALT、 γ GTP、血糖、生活習慣に関する問診（喫煙、飲酒、運動）、血圧薬・脂質薬・血糖薬の服用の有無です。

2008年度の特定健診受診者の中で血圧が正常を示した者が研究の対象となります。対象となった人たちの血圧経過を毎年観察し、高血圧が発症したかどうかを調べます。このデータを使用して、推測統計学の方法で高血圧のリスク因子を明らかにします。この情報に接触できるのは、特定健診に従事する当協会の医師に限定します。

個人情報の取り扱いに関する当協会の基本方針は、このホームページや健診受診票に「個人情報の保護について」として開示してあります。本研究に用いる個人情報は、専用のコンピュータに保管され、個人が識別できないような加工を施し、匿名化されていますので、完全に保護されています。

本研究についての質問や疑問がありましたら、又、健診情報の使用中止を希望される場合には、本施設の下記の窓口へご相談下さい。

相談窓口：このホームページの「個人情報保護指針」のなかの「お問い合わせ窓口 総務課 電話 0985-38-5512」。